

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

和歌山県 日高川町

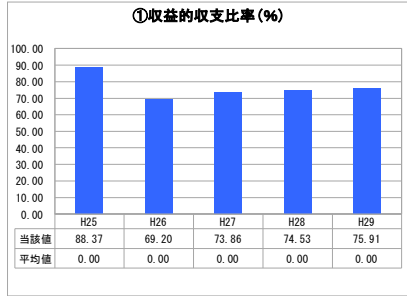
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	林業集落排水	G2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.85	100.00	4,000

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,026	331.59	30.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
85	0.07	1,214.29

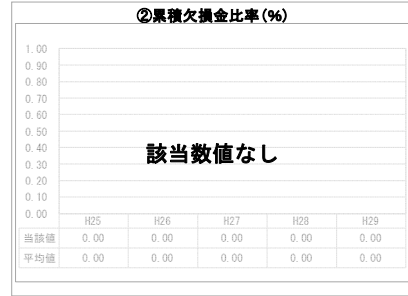
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

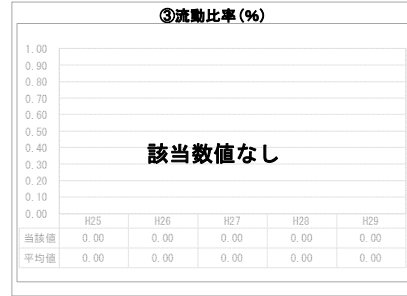
## 1. 経営の健全性・効率性



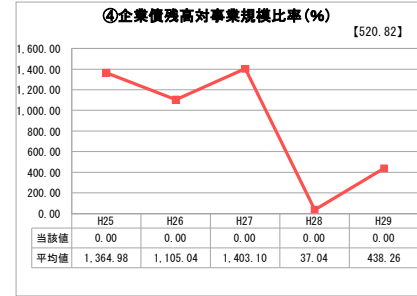
「単年度の収支」



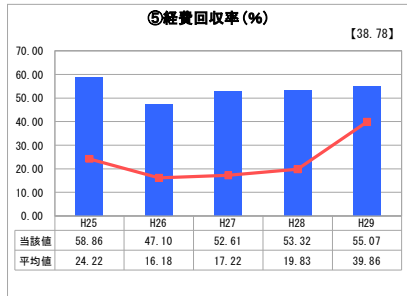
「累積欠損」



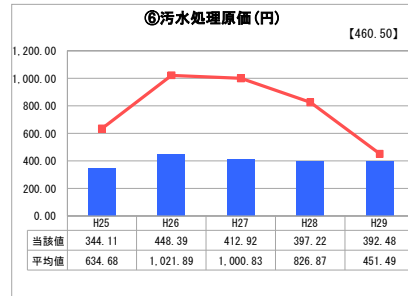
「支払能力」



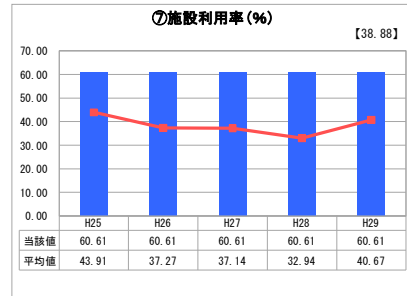
「債務残高」



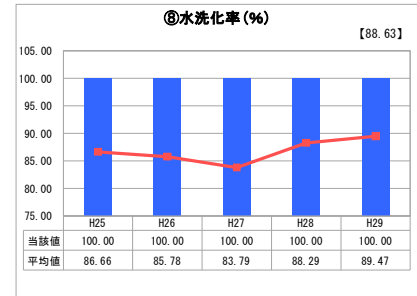
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

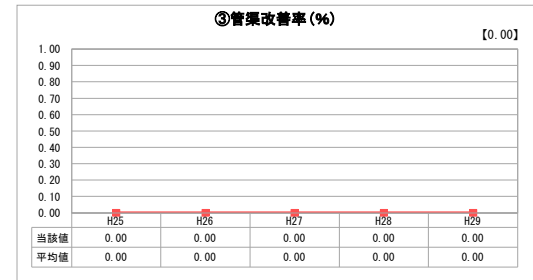
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

下水道事業（林業集落排水）については、①収益的収支比率はやや改善された。④企業債残高対事業規模比率は地方債現在高合計を一般会計で負担している。⑤経費回収率は数値の改善が見られる。⑥汚水処理原価も少しだけ数値は上がっている。⑦施設利用率は変化なし。⑧水洗化率は100%である。全体として全ての指標において全国平均及び類似団体平均値と比較して良好な数値である。しかし、収入財源が乏しい事から、平成29年度についても、修繕費用に大きな支出があり、収益的収支比率はあまり改善していない。

### 2. 老朽化の状況について

処理施設、管渠についても20年を経過していないが、今後老朽調査も視野に入れて行かなければならない。

## 全体総括

林業集落排水地域が山間部にある事から、処理区域人口が少なく、今後新たな人口増は見込めない事から、効果的に修繕費用を抑えて行く施策を考えなければならぬ。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。